

【平成31年度大槌町心の復興事業 採択事業一覧】

No	事業名	団体名	事業開始年度	補助金額(千円)	目的・概要	対象者	実施地域	主な取組内容
1	住民主体の生きがいきづくりと地域交流事業	新生おおつち(会長：多田左衛子)	H29	1,900	高齢者や引きこもりがちな被災者が、農園活動・ものづくりサロン・地域食堂を通じていきいきと生活できること、また、住民同士の交流機会の場となり地域が活性化することを目的とする。	仮設住宅・災害公営住宅入居者(主に高齢者や引きこもりの方)	金沢、辺地ヶ沢、上町、沢山等	<ul style="list-style-type: none"> いきいき農園の整備(月15回程度) 地域食堂の開催(月1回) 収穫祭の開催(夏季) ものづくりサロン(さをり織り等)の開催(月1～3回) フリーマーケットで野菜・工芸品販売(年7回)
2	健康脳推進事業と地域コミュニティ形成の促進事業	NPO 法人ソーシャルハーツ(代表理事：川上 誠)	H28	2,000	災害公営住宅等で一人暮らしの高齢者を対象に、認知症一次予防のための健康脳推進事業及び生きがいきづくり・コミュニティ形成促進を目的とする。	災害公営住宅入居者(主に独居高齢者)	吉里吉里公民館、大ケロー丁目町営住宅集会所、寺野集会所、おしゃっち(5月から実施予定)等	<ul style="list-style-type: none"> 数独教室の開催(月2回) 第2回数独腕試し大会の開催(9月中) 数独ファシリテーターの養成(年2回) 大ケロー丁目町営住宅での数独パズル問題無料配布
3	町方地区における交流を通したコミュニティ形成と高齢者の生きがいきづくりと震災遺構に頼らない震災伝承	一般社団法人おらが大槌夢広場(代表理事：上野未生)	H28	1,750	大槌町文化交流センター(おしゃっち)ができ、町内外での交流の拠点となりつつ町方地区に重点を置き、交流を通した世代間コミュニティ形成、高齢者の生きがいきづくり、震災風化防止を目的とする。	災害公営住宅入居者及び近隣住民、高齢者、高校生	おしゃっちを中心とした町方地区	<ul style="list-style-type: none"> 町外団体との交流事業企画・実施(年10回) 語り部ガイド育成及び機会提供(年130回)
4	災害公営住宅及び周辺地区のコミュニティづくり支援事業	認定NPO法人遠野山・里暮らしネットワーク(会長：菊池 新一)	H29	1,999	自宅にこもりがちな独居高齢者等を対象とした講習会等を開催し、自主的なコミュニティ組織の形成を目指す。また、町内起業業者や商店経営者を講師に招き、地域住民と交流することで、商業面での相乗効果を図ることも目的とする。	災害公営住宅入居者等(主に引きこもりがちな独居高齢者や男性)、町内起業業者・商店経営者	吉里吉里災害公営住宅、末広町災害公営住宅、屋敷前災害公営住宅、その他ニーズのある地区	<ul style="list-style-type: none"> 手芸講習会の開催(年50回) 男性向け料理教室・運動教室の開催(年20回)
5	多世代交流と新しく変化する町の情報発信と生きがいきづくりサロン	おおつちおばちゃんくらぶ(代表：川原畑 洋子)	H28	1,889	ものづくりサロンを通じて、町民同士や多世代間、町外移住者との交流や情報共有、共助意識を助長し、新しく変化する町の中で生きがいを作ることを目的とする。	仮設住宅・災害公営住宅入居者(子供や男性含む)、盛岡大槌会・紫波大槌会・花巻大槌会のメンバー	町内仮設住宅・災害公営住宅集会所・自治会館、町外移住者居住地(盛岡・紫波・花巻等)	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりサロン(ポーセラーツ等)の開催(月7～8回) 展示会への出展(年5回)
6	居場所づくり活動サポート事業	おおつち支え合い協議会(会長：佐々木 亮)	H28	307	地域別サロン活動や居場所づくりを実施することで、震災後に新しくできた災害公営住宅や自治会等でのコミュニティ形成をサポートし、女性を中心とした担い手のネットワーク化を図ることを目的とする。	災害公営住宅入居者及び近隣住民、自治会関係者	臼沢寺野、小鎚、町方、桜木町、大ケロ、金沢、源水、屋敷前、安渡、赤浜、波板	<ul style="list-style-type: none"> 居場所づくりサポーターによる地域別サロン活動(年19回) 半常設の居場所づくり(週1回)
7	薪が紡ぐ、生きがい・人・街づくり	NPO 法人吉里吉里国(理事長：芳賀 正彦)	H29	1,989	森林空間を利用した森林教室の開催、生産した薪の有効活用等を通して、林業による被災者の生きがいきづくり、地域づくりを担う後継者育成、内外交流促進による震災の記憶風化防止を目的とする。	小学生、中学生、高校生、吉里吉里地区住民、国内外ボランティア、国内外企業研修生	町内山林地帯(主に吉里吉里地区内)	<ul style="list-style-type: none"> 林業学校の開催(年6回) 森林教室の開催(年8回) 薪まつり及び山神まつりの開催(年2回) 町外ボランティアとの交流体験・講話会の開催(年40回)
8	大ケロ・源水地区地域共生交流事業	NPO 法人ワーカーズコープ(代表理事：田嶋 羊子)	H29	1,613	大ケロ・源水地区における自治会活動、孤立住民や子育て世帯、高齢世帯等をサポートすることで、マンパワー強化、多世代交流機会の創出、地域で共助し合うコミュニティの構築を目的とする。	大ケロー丁目町営住宅自治会関係者、高齢者、震災後転入世帯、子供(不登校の中高生含む)及び保護者	大ケロ・源水地区	<ul style="list-style-type: none"> 大ケロー丁目町営住宅集会所サロンの開催(週1回) マスト買い物ツアー(年8回) 体操教室、工作教室(月1回) 地域食堂(こども食堂、来ない一会)の開催(月1回) 地域と連携した多世代交流イベントの開催(年4回)
9	大槌町沢山地区における世代間交流と持続可能な共助の仕組み作り	一般社団法人Tsubomi(代表理事：大久保 彩乃)	H31	1,475	震災により地域コミュニティが崩壊し、核家族化した子育て世代が多い沢山地区において交流サロンを開催することで、世代間交流を促進し、子育て共助の仕組みを作ることを目的とする。	沢山地区住民、沢山自治会関係者、地域の子育て世代及びその子供	Flower Canvas、沢山地区集会所	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代向けサロンの開催(月1回) 世代間交流を目的としたサロンの開催(月1回) 地域づくり勉強会の開催(年2回)